

考える力を育む体験学習プログラム



2017年度クラス開講

科学技術が高度に発達し地球規模でのコミュニケーションが加速する時代を迎え、
人々がよりよく生きるための知識や方法として、
科学技術を理解し使いこなす力は、子どもたちが生きていくために必須の能力と言えます。

さらに、国境を越えて多様な価値観を持つ人たちと意見を交わし、
チームワークで目の前の問題を解決する能力も求められます。

2017年のキッズクラブは、
グローバル化時代の人材育成と科学技術を活用するチカラを育む
「グローバル社会教育・先進理科教育コース」と
2020年大学入試改革準備英語を交えた、世界と向き合うための英語コミュニケーションを育む
「グローバルコミュニケーション英語教育コース」の2コースを設定。
体験を通して、これからの時代を生き抜くチカラにチャレンジしてみましょう。

＜Nキッズクラブ＞は、本校が培った教育活動の一環＜「SSH・SGH教育」「課題発見力・表現力」＞を実践する
地域教育支援活動として、小学5年生を対象に2011年からスタートしました。

対 象 **小学5年生** ※原則として全プログラムに参加可能なお子さま（病気、冠婚葬祭などを除きます）

入会金・受講料 **無料**

定 員 **グローバル社会教育・先進理科教育コース 50名**
グローバルコミュニケーション英語教育コース 30名
※申し込み順に受付を行い、定員になり次第締め切らせていただきます。

目 的 これからの時代に学ぶ子どもたちは、明治以来の近代教育が支えてきた社会とは質的に異なる社会で生活をし、
仕事をしていくことになると考えられています。それは、国際的なグローバル化、労働生産性の低迷、産業構造や
就業構造の転換への対応等、新たな時代に向けて国内外に大きな社会変動が起こっているためです。
こうした未来に生きる子供たち一人一人にとって必要な能力は、**（１）十分な知識・技能、（２）それらを基
盤にして答えのない問題に自ら答えを見出していく思考力・判断力・表現力、そして（３）これらの基になる主
体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度**であると考えられます。本プログラムは、それらの素養を身につけるた
めの「社会実学体験型プログラム」として開講いたします。

内 容（予定） **受講コース／①グローバル社会教育先進理科教育コース ②グローバルコミュニケーション英語教育コース**
※お申し込み時に①②のいずれかを選択していただきます。
受講日程／10月14日(土)・11月11日(土)・11月25日(土)・12月2日(土)・12月16日(土)・1月20日(土)・
2月3日(土)・2月17日(土)の全8回
受講時間／各回 13:30～15:30

小学5年生のみなさん、 グローバルの世界にチャレンジしてみましよう！

開講日	グローバル社会教育・先進理科教育コース	グローバルコミュニケーション英語教育コース
10/14 (土)	オリエンテーション／グローバル教育について (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) (1) オリエンテーション (2) 2020年大学入試改革を見据えた「思考力・判断力・表現力」の育成や多様な人々と協働する態度「主体性・多様性・協働性」の育成について学びます。 (3) 本校が実施しているスーパーグローバルハイスクール指定校プログラムの一例を体験学習します。	オリエンテーション／イングリッシュ教育について (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) (1) オリエンテーション (2) 世界のあいさつ 世界の言葉で会話するのは難しくても、挨拶なら挑戦できます。たとえば言葉で挨拶をするときは、笑顔で声をかけますか？片手をあげて挨拶しますか？表情を変化させたり、身体を使った動作をつけて挨拶すると、上手くなくても気持ちが届き、伝わり方も変わります。言葉はもちろん、その動作の違いが国の個性や人の個性に。世界の国々の特長を表現する、ユニークな挨拶コミュニケーションを体験学習します。
11/11 (土)	環境問題・共生社会を通じた課題発見と解決方法 (指導・監修／タカトミー) 「おもちゃを教材にした環境教育」「タカトミーのお仕事を通じたキャリア教育」などのプログラムを、タカトミーの社員の方とのコミュニケーションを通じて、勤労観・職業観などの社会性を育みます。	どこから来たの外来語？ (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 外来語って何ですか？と言われると、わかりやすいえば「外国から入って、自分の国の言葉と同じように使われるようになった語」？外国の単語はなんでも外来語？カタカナで書けば全部外来語？外来語のなぞを学びます。
11/25 (土)	放射線って何？ (指導・監修／放射線医学総合研究所) 身のまわりにある放射線って知っていますか？どこにあって、どうやって測るんだろ？私たちの健康や生活を支えている放射線って何だろう？ここでは放射線の仕組み、日常生活における放射線や、医療現場での重粒子線を使ったがん治療の特徴、放射線治療の仕組みについて、最先端の研究を学びます。	探検ワールドツアー＆ゲーム (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 大きな世界地図を使って、英語を母語として話している国や外国語として英語がよく話されている国について学びます。国際言語としての英語はどの国から始まったのでしょうか。様々な国の名前を英語で覚えたり国旗を作ったりしながら、英語がたどってきた歴史を学びます。また、他国で人気のある遊びを紹介し実際に体験します。
12/2 (土)	国際経済の基礎知識 (指導・監修／野村ホールディングス) 世界各国で使用される通貨の種類や為替レート、円高や円安が貿易に与える影響などについてわかりやすく解説します。また、為替変動を体験できるゲームも取り入れ、為替の仕組みや円高円安の意味などを学びます。	日本と海外の教育を比べよう！ (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 日本の義務教育は小学校・中学校の9年間と定められています。義務教育期間は国によって異なります。世界ではどんな生徒がどのような学校生活を送っているのでしょうか。いろんな国の学校制度や学校風景について学びます。
12/16 (土)	燃える氷のメカニズムに迫る (指導・監修／産業技術総合研究所) 将来の日本の重要なエネルギー資源として注目されている「メタンハイドレート」はいま、日本近海で実用化に向けたプロジェクトが進められています。メタンハイドレートは、氷のように見えることから「燃える氷」と呼ばれています。試験室で模擬的に作成したメタンハイドレートに手で触れたり、燃やしてみたりする実験と分子モデルの作成に取り組みます。	世界の伝統行事（クリスマス） (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 世界の有名な伝統行事をテーマに、世界で行われている伝統的で有名な行事にはどのようなものがあるのかを考えます。世界中で祝われているクリスマスの始まりはどのようなのでしょうか。サンタクロースとクリスマスの繋がりはあるのでしょうか。アメリカやイギリスでのクリスマスの過ごし方や祝い方など、日本と比較しながら伝統行事について学びます。
1/20 (土)	パソコンを使って、アプリ開発の仕事に挑戦！ (指導・監修／サイボウズ) 実際に世の中で使われているシステムに触りながら、自分たちで、普段の生活に役立つシステムを作ってみます。パソコンを初めて使う子もできます。この講座では、プログラミングに必要な「論理的に考えて問題を解決する力」を体験することを目的としています。	体感・異文化コミュニケーション (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 多様性が求められるこの時代、異なる文化を持つ人とのコミュニケーションの取り方が重要になってきます。今回は学校の授業でも利用される異文化コミュニケーションを学びます。
2/3 (土)	マーケット分析！コンビニ出店を探る (指導・監修／セブンイレブン) セブンイレブンの出店を検討するゲームを通じて、子どもたちに考えることの楽しさを知ってもらいます。また、日本に起きている変化（少子・高齢化／核家族化／女性の社会進出／小売店舗の減少）を学び、子どもたちの将来を考えます。	世界の通貨でショッピング (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 国によって使用のお金は違います。日本は円、アメリカはドル、イギリスはポンド。その他も国によってお金の価値や呼び方は異なります。この授業では、グループに分かれ世界のお店を作り、これまで学んできた英語表現を使って世界の通貨でショッピング体験します。
2/17 (土)	未来のチカラ・ロボット開発 (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 産業事故や自然災害など、人間が入り込めないような現場で機材運搬や復旧活動を行うロボットもいれば、自動車の製造ラインで活躍するロボットもいます。これからの日本の発展に、ロボット技術はどのように役立っていくのでしょうか。センサーを使った、ロボットにプログラミングを行い、自走式ロボットを作成します。	世界の食文化体験 (指導・監修／札幌日本大学中学校・高等学校) 食べ物を通して異文化理解を深め、世界とのつながりに気づき、親子で対話や行動を始めるきっかけづくりにする地域版国際理解教育。アメリカ、イギリス、ノルウェーなどで子ども達から人気の簡単に作れるスイーツ作り挑戦します。

お申込みについて

本校ウェブサイトからお申し込みください。「札幌日本大学中学校・高等学校トップページ」⇒「各種イベントのお申込み」⇒「2017年度Nキッズクラブ募集について」より、必要事項を入力の上、返信してください。